



もとみや

議会だより

第80号

令和6年7月31日発行

6月定例会

元気いっぱい夏休み



市議会のHPからもご覧いただけます！

目次

- 特集、議案審査…………… P 2、3
- 常任委員会審査…………… P 4、5
- 討論…………… P 6
- 議決結果…………… P 7
- 一般質問…………… P 8
- 政務活動費報告…………… P16

各会計補正予算など 19議案を可決

6月定例会
議案
TOPIC

6月定例会（第3回本宮市議会定例会）は、市長からの条例制定や各会計補正予算など15議案と報告7件、議員からの発議4件が提出され、採決を行った結果、すべての議案が同意および可決となりました。また、請願2件、陳情2件が提出され、審議の結果、採択となりました。

本宮市国民健康保険税条例の一部改正

県内統一に向けて段階的な引き上げ

6月定例会は、その年度の国民健康保険税率の改正を行うことから、**国保議会**とも呼ばれています。今年度の改正では、国民健康保険税の令和11年度の県内統一に向けて、段階的に移行するため、税負担の上昇が緩やかになるよう引き上げを行います。

国民健康保険の税改正

項目		令和5年度	令和6年度
所得割	医療給付費分	6.23%	6.32%
	後期高齢者支援金分	2.38%	2.40%
	介護納付金分	2.05%	2.11%
均等割	医療給付費分	19,800円	21,000円
	後期高齢者支援金分	7,900円	8,300円
	介護納付金分	8,200円	8,700円
平等割	医療給付費分	16,700円	18,000円
	後期高齢者支援金分	5,700円	6,300円
	介護納付金分	4,400円	4,800円
一人あたりの税額		89,470円	94,503円
一人あたりの税額伸び率		—	105.63%

国保税の県内統一とは

福島県では、保険者規模が縮小する中、市町村の国保事業や財政を一体的に管理することで安定的な運営を持続させる必要があることや、県内のどこに住んでいても、同じ保険給付を同じ保険料（税）負担で受けられることが望ましいことから、同じ所得水準・同じ世帯構成であれば同じ保険料負担となるよう、保険料（税）水準の統一を進めることとしています。

国保税の課税のしかた

国民健康保険税は、国民健康保険に加入している皆さんが、病院にかかった際、医療費などの支払いに充てる医療分、後期高齢者医療制度を支えるための支援金分、介護保険の財源になる介護分を合わせて課税されます。

※介護分は40歳から64歳の方が対象になります。

統一に向けたスケジュール

令和11年度に完全統一することを目指し、令和6年度から令和10年度までを移行期間としています。

●国保税の項目内容

項目	内容
所得割	加入者ごとの前年中の所得額に応じて課税される額
均等割	加入者1人あたりに課税される額
平等割	加入者世帯ごとに課税される額

一般会計補正予算（第2号） 4億1,665万円の増額

議案第36号

今議会に提出された令和6年度一般会計補正予算（第2号）の主なものは、所得税・個人住民税の定額減税実施に伴い減税しきれないと見込まれる方へ給付する、定額減税補足給付金のほか、今年度新たに住民税均等割が非課税および住民税均等割のみ課税となった世帯へ給付する、エネルギー・食料品等価格高騰重点支援給付金、市民プールの採暖室熱源交換および床暖房設備修繕に係る工事請負費、自治体情報システム標準化・共通化に伴うシステム改修および環境設定作業に係る委託料などが計上されました。

補正予算の主な内容		補正額
歳出	標準化移行作業委託料	1,150万円
	保険基盤安定負担金繰出金	1,458万円
	エネルギー・食料品等価格高騰重点支援給付金	5,000万円
	定額減税補足給付金	28,810万円
	採暖室熱源交換工事 床暖房設備配管修繕工事 床暖房設備ヘッダー内結束・循環液処分補充工事	1,332万円
歳入	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	34,953万円
	国民健康保険基盤安定等負担金	838万円
	財政調整基金繰入金	1,521万円
	教育施設等整備事業基金繰入金	1,332万円
	デジタル基盤改革支援補助金	1,150万円

質問事項

議案第36号

Question

情報システムの標準化・共通化とは

これまでの情報システムでは、自治体ごとに仕様を作成していたため、維持管理や制度改正時の改修の際は個別対応となり、情報システムの差異の調整や、住民サービス向上の取組みを迅速に全国に普及させることが難しいなどの課題が発生していました。

このような状況から、国は地方公共団体に対して、対象事務の標準化基準に適合した情報システムの利用を義務付ける「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」を成立し、標準仕様に基づくシステムを利用することで、人的・財政的な負担の軽減を図り、デジタル化の基盤を構築することとしています。システム移行は、令和7年度までを目指しています。

答 今年度中には全体の約8割程度の進捗を見込んでおり、目標である令和7年度末よりも若干早く完了する見込みである。

問 DX全国標準化システムに係る進捗状況は。

事業 標準化移行作業委託料

本宮市ふれあい美術館条例制定について

議案第29号

本宮市白沢ふれあい文化ホールの改修に伴い、新たな名称を募集し、「本宮市ふれあい美術館」と名称が選定されました。本条例において、旧名称の本宮市白沢ふれあい文化ホールは廃止となり、新たな名称でリニューアルオープン予定です。



▲改修前の白沢ふれあい文化ホール

総務文教 常任委員会

総務文教常任委員会には、一般会計補正予算のほか、議案6件、請願2件、陳情1件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

請願・陳情審査

請願第1号「国に対し「学校給食無償化を実施することを求める意見書」の提出についての請願」、**請願第2号**「県に対し「学校給食無償化を実施すること」を求める意見書」の提出についての請願」、**陳情第4号**「地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情」について審査を行い、いずれも採択と決定しました。

本宮市放課後児童保育条例の一部を改正する条例制定について

説明 いままでは人数によるクラス数の変動のたびに条例改正が必要であったが、今回の改正によりクラス数に関係なく各放課後児童クラブの場所および位置のみを規定し、今後のクラス変動に迅速に対応する。

放課後児童クラブの現在の職員の充足率は。

答 1クラス当たり2人の職員を配置する必要があり、現状充足している状態であるが、余裕のある人員体制ではないため、人員確保に努めている状況である。

一般会計補正予算

説明 市民プールの採暖室熱源交換および床暖房設備修繕に係る工事請負費を補正する。

市民プール採暖室の使用再開時期は。

答 交換する部品の納入時期を考慮したうえで、発注から2カ月以内には完了する予定である。

現地調査

給食センター、市民ホール、白沢ふれあい文化ホールの現地調査を行いました。



▲給食センターの現地調査の様子

生活福祉 常任委員会

生活福祉常任委員会には、本宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定についてのほか議案4件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

本宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

説明 地方税法施行令の一部改正に伴う所要の改正と令和11年度の国民健康保険税県内統一に向けて保険料上昇が緩やかになるよう調整するもの。

国保税の県内統一に向けたシミュレーション見直しの状況は議会に対して情報提供されるか。

答 最新情報や県推計の改訂内容を照らし合わせながら毎年見直しを行い、本算定前の議会説明はもとより、重要な情報は都度説明に努めたい。

一般会計補正予算

説明 妊婦にやさしい遠方出産支援助成金として自宅近くに分娩施設がない妊婦の交通費や宿泊費を補助するもの。

里帰り出産をした方も対象となるか。

答 市民が里帰りをして、里帰り先から最寄りの分娩施設まで1時間以上かかる場合には該当となる。



産業建設 常任委員会

産業建設常任委員会には、和解及び損害賠償額の決定についてのほか、議案3件、陳情1件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

和解及び損害賠償額の決定について

説明 市道起因の損害について、相手方から和解について了承を得られたため、損害賠償額を決定する。

問 再発防止策は。

答 原因となった市道については、舗装全面打換を行った。今後このような事態が起こらないよう、早急な対応と十分な維持管理に努めたい。

問 道路管理者以外が行う工事の際の舗装構成の承認条件は。

答 大型車両の往来や交通量の増加が見込まれる場合には、道路法24条に基づき施行承認の際に出入口部分の舗装の厚さについて条件を付しており、市での維持管理上、修繕が必要となった場合には改良を加えた修繕を行っている。

陳情審査

陳情第3号 「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情」について、審査を行い、採択と決定しました。

現地調査

太郎丸排水ポンプ場、市道赤木・狐森線、市道碓森線の現地調査を行いました。



▲市道赤木・狐森線の工事現場

遊水地視察

阿武隈川上流(鏡石町・矢吹町・玉川村)

5月21日、市議会全議員で遊水地整備事業の取組みについて理解を深めるため、予定地を視察しました。



▲現地で説明を受ける議員(鏡石町)

事業の概要

国が主体となり、県や市町村が連携し取り組んでおり、2028年度の完成を目指しています。遊水地は、鏡石町・矢吹町・玉川村にまたがり、総面積は約350ha、川の水の貯水量は東京ドーム12杯、16杯の約1,500〜2,000立方メートルで遊水地を掘削して容量を確保します。

事業の目的

東日本台風による甚大な被害を踏まえ、浸水被害軽減のため阿武隈川上流に、新たな遊水地群の整備が進められています。遊水地は、洪水時に一時的に水を貯め込み、遊水地周辺と下流の水位を下げ、浸水被害を軽減するものです。

事業の効果

遊水地の整備により、東日本台風で大きな被害を受けた阿武隈川下流に位置する本市にとっても、阿武隈川の水位を下げる大きな効果が期待されます。上流域の広大な土地を活用させていただくことにより、下流域では防災・減災の恩恵を受けることができます。

討論

6月13日の本会議で、議案第32号について討論がありました。主な内容は次のとおりです。

議案第32号 本宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

反対

渡辺忠夫 議員

本議案で国民健康保険税が1人当たり平均で5,033円と大きく引き上がり、令和11年度の県内統一に向けて段階的に移行するとしているが、私たちは、県内統一に反対する。これまで多くの自治体は、国保税の高騰を抑えたり、自治体独自の国保税の減免を行ったりするため、一般会計から国保会計に繰り入れる措置が行われており、2015年時点では760市町村、3,000億円を超えられている。本市でも、これまでは同年同負担か、引き下げ措置をとっており、この法定外繰り入れ「解消」こそ、制度改変の最大の狙いと言われている。「国保の都道府県化」後、依然として269市町村が繰り入れを継続し767億円が投入されており、(2020年度現在) 地方自治の本旨や自治体の条例制定権を定めた憲法の条文からしても自治体の福祉措置を国が「禁止」することはできない。国保税が高すぎる大本には、加入者の貧困化、高齢化・重症化と、長年にわたる国庫負担の抑制という根本問題があり、この「国保の構造問題」を解決しないまま保険料の「統一」を目指しても、保険税を高いほうに合わせることにしかならず、住民の苦しみと国民皆保険の危機は深刻化するだけである。

全国知事会をはじめ、全国市長会、地方団体は「協会けんぽ」を保険料並みに引き下げするため「一兆円の公費負担増」、「国の低率負担の引き上げ」、「子どもの均等割りの全面見直し」などを要望している。自公政権は、この要望に応じないまま都道府県化を強行したが、市の対応として国や国保運営に対して、国庫負担の増額を求めること。そして、負担の軽減と子育て支援のためにも、協会けんぽなどにはない、均等割や平等割を減免して負担軽減措置をするよう強く求める。

賛成

根本利信 議員

国民皆保険制度は、国民すべてがいつでもどこでも安心して医療が受けられる最後の砦となっているが、生活習慣病の増加や、医療の高度化により、医療費が増加する一方、低所得者の加入割合も高めの状況である。

これまで、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う収入減や、物価高騰による家計の負担を軽減するため、財政調整基金を活用し、本来の必要税額を抑える配慮がなされているが、福島県では、令和11年度に国保税の県内統一を行い、県内どこに住んでも同一の保険給付と税負担を保証していく方針が示されており、本市においても、被保険者が減少していく中で、広域化による安定的な財政基盤を確保し、医療保険制度の持続可能な運営を図るために、県内統一は必要である。

今後、被保険者に過度な負担増が伴わないよう、基金を活用しながら、段階的に税負担を調整し、県内統一へのソフトランディングを目指すこととしており、本市の国保被保険者にとって、さらなる健康の保持増進や、安心できる医療保険制度の維持に繋げるためにも本議案に賛成する。

6月定例会賛否一覧

これら以外の議案等は7ページのとおり全会一致で可決されています。

会派名	誠 和 会						新 風 会					創 成 会			公 共	無所属				
議員名	石橋今朝夫	菊田 広嗣	磯松 俊彦	玉川 実	渡辺 富幸	後藤 友誉	橋本 善壽	三瓶 裕司	斎藤 雅彦	根本 利信	田中美代子	国分 秀好	渡辺 秀雄	菅野 健治	三瓶 幹夫	馬場 亨守	川名 順子	渡辺 忠夫	伊藤 隆一	作田 博
議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

※ ○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長（橋本善壽）は採決には加わらない

※ 会派名の略称は以下のとおり 公…本宮市議会公明党 共…日本共産党

議決結果一覧

令和6年6月定例会 議決結果一覧表

市長提出議案15件 報告7件

番号	議案名	付託委員会	議決結果
議案第27号	監査委員の選任について	省略	同意
議案第28号	専決処分の承認を求めることについて (専決第1号 本宮市税条例の一部を改正する条例制定について)	総務文教	承認
議案第29号	本宮市ふれあい美術館条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第30号	本宮市個人番号利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第31号	本宮市税条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第32号	本宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	生活福祉	原案可決確定
議案第33号	平成23年東日本大震災による災害被害者に対する市民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例制定について	生活福祉	原案可決確定
議案第34号	本宮市放課後児童保育条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第35号	和解及び損害賠償額の決定について	産業建設	原案可決確定
議案第36号	令和6年度本宮市一般会計補正予算(第2号)	全常任委員会	原案可決確定
議案第37号	令和6年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	生活福祉	原案可決確定
議案第38号	令和6年度本宮市介護保険特別会計補正予算(第1号)	生活福祉	原案可決確定
議案第39号	令和6年度本宮市水道事業会計補正予算(第1号)	産業建設	原案可決確定
議案第40号	令和6年度本宮市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	産業建設	原案可決確定
議案第41号	白岩仮置場原状回復工事請負契約について	省略	原案可決確定
報告第2号	債権放棄の報告について	-	-
報告第3号	令和5年度本宮市継続費繰越計算書について	-	-
報告第4号	令和5年度本宮市繰越明許費繰越計算書について	-	-
報告第5号	令和5年度本宮市事故繰越し繰越計算書について	-	-
報告第6号	令和5年度本宮市水道事業会計予算繰越計算書について	-	-
報告第7号	令和5年度本宮市公共下水道事業会計予算繰越計算書について	-	-
報告第8号	専決処分の報告について (専決第2号 和解及び損害賠償額の決定について)	-	-

請願2件 陳情2件

番号	議案名	付託委員会	議決結果
請願第1号	国に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」提出についての請願	総務文教	採択
請願第2号	県に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」提出についての請願	総務文教	採択
陳情第3号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	省略	採択
陳情第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情について	総務文教	採択

議員提出案件6件

番号	議案名	議決結果
発議第2号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	原案可決確定
発議第3号	学校給食費無償化を実施することを求める意見書	原案可決確定
発議第4号	県として学校給食無償化を実施することを求める意見書	原案可決確定
発議第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決確定
-	議員派遣	決定
-	閉会中継続調査申出書(各常任委員会)	決定

市 政 政 策 を 問 う

一 般 質 問



Question 一般質問とは

議員が、市政全般のことについて、市に対して考えを聞くのが一般質問です。皆さんの生活にかかわる内容がきっとあります。

質問議員	質問事項	ページ
三瓶 幹夫 (創成会)	・県道整備について ・白沢地区3小学校の児童について	9
磯松 俊彦 (誠和会)	・合併支援道路発掘遺跡の看板は ・駅利用者増の方向性は	9
後藤 友誉 (誠和会)	・学校からの修繕箇所要望について ・樹木粉碎機等導入し市民貸出しは	10
斎藤 雅彦 (新風会)	・持続可能な地域活性化の取組は ・インターネット検診予約の効果は	10
国分 秀好 (新風会)	・各小・中学校の環境整備状況は ・庁内ワーキンググループの目的は	11
渡辺 富幸 (誠和会)	・白沢地区人口減少解決の為の課題 ・本市職員へのカスハラについて	11
菊田 広嗣 (誠和会)	・地域クラブの中体連出場機会は ・学区の範囲や線引きについて	12
渡辺 秀雄 (創成会)	・二中入口交差点の整備はいつに ・ホテル等の市税減免は条例で	12
田中 美代子 (新風会)	・介護職員不足解消の対策は ・岳山ふれあいの森活用の施策は	13
馬場 亨守 (創成会)	・市道の修繕について ・職員の健康管理について	13
菅野 健治 (創成会)	・教育長就任に当たり所信について ・児童・生徒のいじめについて	14
川名 順子 (本宮市議会公明党)	・軟骨伝導イヤホンを設置すべき ・「読書の街」宣言して教育の街に	14
渡辺 忠夫 (日本共産党)	・補聴器購入に対する助成制度を ・学校の桜の木の管理は	15



QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。

問 開通した合併支援助道の高木地区の現場で発掘調査が行われ令和3年11月完了した、この地に歴史的遺跡があったことを広報する価値があると思うが。市の行事に各地の伝統芸能を取り入れて実態に即した支援策を研究しては。

答 発掘について令和4年5月に発掘報告書が作成されている。指定文化財ではないため現地への看板設置等は予定していない。各種事業に出演していたり、各団体が負担にならない活動など調査してまいります。

問 地域交流センターにおける物産販売コーナーの規模拡大は。駅利用者増に向けての考え方は。ウォーキングで健康的な行動を生活に取り入れることができるのでは。ウォーキングコースが設定されていない事情は。

答 引き続き地域交流センターを活用していただきたい。本市としては公共交通の利用を増やしていきたいと考えている。ウォーキングは継続することで健康増進につながる。ウォーキングができる施設を利用いただいている。

その他の質問

- ・奥の細道について合併後の市による管理状況は
- ・こおりやま広域圏における連携について



▲歴史的、文化的な道路施設の整備を



問 合併支援助道路発掘遺跡の看板は

答 現地への看板設置等の予定はない

磯松 俊彦 (誠和会)



▲県道に歩道の整備を (県道本宮三春線)

問 県道整備の計画が進んでいる中で、市の対応は。路線ごとに具体的な進行状況を伺う。大橋五百川線の改良、本宮熱海線の整備促進、本宮三春線の整備について。各路線は狭隘で歩道未設置のため、非常に危険な県道である。

答 大橋五百川線は、現道を生かした計画となる。本宮熱海線は、二重入口の交差点の進捗状況を見ながら、調査検討する。本宮三春線、糠沢西笹田地内カーブ区間の局部改良、笹田池から東笹田地までの歩道整備を県に要望している。

問 各小学校の児童数を伺う。来年度入学予想児童数はそれぞれ何名ほどか伺う。少子化の世の中になってもしまったことの表れか。3小学校の児童数が少なくなったことについて、どのようなイメージをしているのか伺う。

答 令和6年4月1日現在の児童数は、糠沢小が102名、和田小が63名、白岩小が119名となっている。令和7年4月の入学予定者は糠沢小15名、和田小14名、白岩小19名となっている。小さな学校、小規模のメリットを十分に生かす。

その他の質問

- ・地域農業振興について
- ・市営住宅管理について



問 県道整備について

答 歩道整備を県に強く働きかける

三瓶 幹夫 (創成会)



問 白沢地区3小学校の児童について
答 学校は地域のコミュニティの核



QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。



▲防犯灯建設事業費補助金（LED化）の積極的な活用を

問 町内会組織自体も高齢化や少子化、若い世代流出のあおりを受け弱体化している。LED化が進められている防犯灯および街路灯の新設や維持管理を市がやるべき。町内会管理のごみステーションに町内会以外の方が捨てる場合は拒否できるか。

答 計画的整備期間における整備は今年度で完了し、令和7年度以降は防犯上、緊急に整備が必要なものへの対応とさせていただきます。ごみステーションは、お住まいの地域の利用が原則で、地域以外の人のごみ出しを拒否できると捉えています。

問 政府のデジタル社会は、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化を達成するために、デジタル活用による不安のある高齢者等に対する支援が極めて重要である。障がいのある方などが電話やインターネットで申込みが困難な場合の対応は。

答 民生委員や介護のケアマネジャー等に、独り暮らしの高齢者や申込みが困難な方々に声がけし、支援していただくよう要請をしてきた。保健課に直接電話で問合せいただければ、予約できると民生委員とケアマネは話をしていた。

その他の質問

- ・ワクチン用超低温冷凍庫の譲渡の状況について
- ・役目を終えた仕切り用パーティション再利用は



問 持続可能な地域活性化の取組は

答 LED計画的整備は今年度で完了

齋藤 雅彦
(新風会)



問 インターネット検診予約の効果は

答 順調に予約を受けることができた

問 修繕箇所要望において、複数年にわたって要望しているものもある。鍵穴の故障で取っ手がなく、半年間施錠できず防犯において、すぐに対応すべき事例もあった。要望に応えられていない現実には担当部署間での共有はされているのか。

答 簡易な修繕依頼は、都度対応し、緊急性の高いものの、児童・生徒の安全に関わるもの、学校生活に支障を生じるおそれがあるものを内容優先して取り組んでいる。その都度、状況の聞き取り、職員による現地確認を基本としている。

問 森林環境譲与税を活用し樹木粉砕機、剪定枝破砕機を導入し、市民に貸出ししてはどうか。粉砕によりチップを土に混ぜて堆肥、土壌改良、バイオマスとして活用幅が、ゼロカーボンにつながり、一人の行動が共感をうみ保全になる

答 個人管理ができる市民は、少ないと捉えている。森林整備には相当の費用がかかることが想定されるため、基金については、森林経営管理制度に基づく森林整備に充当していくことを最優先に考えている。

その他の質問

- ・青田村道路切の拡幅、歩道設置は
- ・もとみや駅伝競走大会の参加要件を拡大しては



▲児童・生徒の学校生活を修繕箇所の迅速な情報共有・対応で



問 学校からの修繕箇所要望について

答 着手が遅くなる現状もある

問 樹木粉砕機等導入し市民貸出しは

答 導入は考えていない

後藤 友誉
(誠和会)



問 白沢地区の合併時の人口は9,131人。令和6年1月現在の人口は6,872人。2,259人も減少している。人口減少抑制の為にさまざまな施策を実施しているが、思うような結果には結びついていない。その最大の原因・課題は何か。

答 白沢地区の自然や交通アクセスの良さ、豊富な文化・スポーツ施設。屋内・屋外遊び場等、子育てや生活環境が充実している魅力が伝え切れていない所が人口減の最大の要因と考える。しらすわファンクラブ事業等で魅力発信を強化する。

問 職員へのカスハラが発生するとさまざまな悪影響が生じ、市として大きな損失となる。現在カスハラ対策を講じているのか。すぐに出来る事も含めて札幌市等の事例を参考にし、今後に向けてカスハラ対策を講じるべきである。市の見解は。

答 現在のカスハラ対策は複数の職員による接客対応や早い段階で上司が対応に加わる等、状況に応じた対応をしている。今後はすべての職員へのアンケートを実施し対応を考える。カスハラ対策の各種取り組み等について調査し検討していく。



問 白沢地区人口減少解決の為の課題
答 白沢地区の魅力が伝わっていない

渡辺 富幸
(誠和会)



▲白沢中学校奉仕作業

問 学校奉仕作業について、少子化・人口減少により児童・生徒数も減っている中で、学校奉仕作業の現状は。また、今後人口減少の中どのように学校環境整備を実施して行くのか。

答 現時点では、PTAの皆さんに可能な範囲で奉仕をいただいている。人員不足については、どの程度不足しているか実態を把握していないが、今後は何らかの対応が必要と考えている。地域の皆様やボランティア団体に協力を広げていく。

問 令和6年本宮市のDX推進計画策定に係る庁内ワーキンググループが設置されたが目的と役割・活動内容は。また、DXアレルギーを感じている職員に対してデジタルレバイド(情報格差)を無くす考えは。

答 DXを積極的に活用することで、行政サービスの向上と業務の効率化に繋がる。職員全体、組織全体のスキルアップ・意識改革に繋げ、DX人材育成を担っていく。レバイド対策としてはリテラシーを向上させ、DXに強い人材を育成する。



問 各小・中学校の環境整備の状況は
答 現状は学校・PTAに委ねている

国分 秀好
(新風会)



問 庁内ワーキンググループの目的は
答 サービス向上と職員の意識改革



▲新規事業「しらすわファンクラブ」で白沢地区の魅力を発信していく



▲交差点改良工事はいつになるのか

問 昨年、用地確保の目的が、工事予定地に昨秋防草シートが張られた。地元では当分工事に入らないのではとの声が聞かれる。集落内の狭隘な通学路を迂回する車両も多く早急な整備が望まれるがいつになるのか。

答 現在、県では用地取得および移転が必要となる建物の移転補償の交渉に努めているとのこと。市としても交渉に同行し早期に取得等できるよう協力していきたい。工事期間は2年程度要すること。

問 5年間実施してきているホテル、集客施設への市税減免が今年9月で終了する。3月の一般質問でさらに5年間、割合も全額で継続したいとの答弁があった。特例措置であり単に議会に説明ではなく、条例提案で承認を得るべきでは。

答 これらの施設は、3年半に及ぶコロナ禍で、経営がまだまだ厳しい状況にある。市にとってそれぞれ1施設しかなく、定住、交流人口の増加策や災害時の避難所として重要な施設でもあり、要綱改正により継続して減

その他の質問

- ・五百川停車場線の歩道整備について



問 二中入口交差点の整備はいつに

答 用地取得後2年程度を要する

渡辺 秀雄 (創成会)



問 今までは中学校の部活動しか中体連に参加できなかったが、参加資格が改正され教育委員会が認めた地域移行に伴う地域クラブチーム等が参加できるようになった。生徒の出場機会を担保する意味でも必要だと思うが活用されているのか。

答 制度を活用して大会に参加したという例はまだ聞いていない。相談があれば対応していきたいが現時点でそういった相談はない。クラブとして出てほしいというようなPRはしていないが今後そういった形での参加は増えてくると思う。

問 学区の線引きで通学の距離とかルートが適合していない部分があるのではないと思う。時代や生活スタイルの変化に合わせ学区の線引きも含め情報のアップデートをしなればならないと思うが、情報を更新するため制度や機能はあるか。

答 総合的に判断し現在の制度が維持されているがすべての学校からそういう声が大きくなった時点で検討する必要があると思う。現時点から各校長に話をして、学校運営協議会等で話題にしていければと思う。話合いの機会を作っていきたい。

その他の質問

- ・児童・生徒の登下校の状況について
- ・地域との連携協働・活性化の現状は



▲子ども達がメリットを最大限享受できるような教育行政を



問 地域クラブの中体連出場機会は

答 相談があれば対応していきたい

菊田 広嗣 (誠和会)



問 学区の範囲や線引きについて

答 話合いの機会を作っていきたい



▲自然あふれる岳山ふれあいの森の新たな利活用に期待



問 介護職員不足解消の対策は

答 介護の魅力を発信し就職増加に

田中美代子 (新風会)



問 昨年9月の定例会で介護職員不足は深刻で成り手もない、介護員不足が慢性化していると質問した。その際に、介護の魅力を発信していきたいと話があった。「介護のしごと魅力発信事業」が新規事業としてあるが、その内容を伺う。

答 市内の介護事業所で働くスタッフを取材。仕事のやりがいや喜び、生き生きと働く姿、重労働などのマイナスイメージとは違う今の介護業界の情報、働き方の多様性を盛り込んだパンフレットを作成し介護の仕事を身近に感じてもらう。

問 岳山ふれあいの森活用の施策は

答 新たな集客力のある岳山にしたい

問 白岩小学校校歌にも歌われ、遠足にも行っていた。実習館もあり十数年前は利用もされていた。そこで、ふれあいの森に小学生高学年が楽しめるキャンプ場、アスレチック、クライミング、木工教室開催等、整備し有効活用できないか。

答 ふれあいの森については整備し36年、建物では30年経過し老朽化しておりニーズが減っていると感じている。昨年度、市内の若手職員でワーキンググループをつくり新たな利活用について検討を始めており、現在も検討中である。



問 市道の修繕について

答 適切な予算の中で道路維持

馬場 亨守 (創成会)



問 3月議会にて修繕を必要としている市道は31kmで費用は10億3千万円との答弁があった。未整備市道に係る予算拡大の考えは。また財政計画維持補修費が約一億円ほどしか計上がないが根拠は。

答 多くの路線が道路舗装の耐用年数を経過している状況ではあるが、道路の路面状況を見ながら、計画的に修繕を実施している。中長期的な計画期間の中で策定したもので。令和4年は、補正等で計画以上に予算要求し対応している。

問 職員の健康管理について

答 早期発見、早期対応が一番

問 ①どのような点に留意して指導しているのか。②現在休職している職員の方はいるか。休職された職員が復職される時の配慮は。

答 ①本人による体調チェック、異変を感じたら早めに休養、病院で受診する等早めの対応するよう指導している。②休職者は4名。職場復帰プログラムに基づき支援を行っている。



▲生活道路の側溝整備を

その他の質問

- 地域密着型通所介護の利用状況について
- 国道4線戸崎ロータリー空き地に看板設置を



▲「読書の街」に!!

問 軟骨伝導イヤホンは耳の周囲にある軟骨を振動させて伝える為、通常のイヤホンのように耳を塞がない小さい声でもはっきり聞き取ることができ、耳が聞こえにくい高齢者や難聴者とコミュニケーションをとれるよう市民課やえぼかに設置は。

答 近年新聞やテレビなど多くのメディアで取り上げられ、主に金融機関や他の自治体・病院の窓口で導入が進んでいる。耳が聞こえにくい方に対する窓口対応の手段として、試行的に導入し、効果が確認できれば導入に向けて広く検討していく。

問 二度目の文部科学大臣賞を受賞して、「読書の街宣言」し、子ども司書の育成・ピブリオバトルを実施し、AI時代の今だからこそ、読む力を高める読書を推進し情報を読み解く力を身に付けて、学力向上を目指し子育てしやすい街にすべき。

答 読書の街を宣言することは、自治体の方向性について、内外に市の方針を明確に伝え政策を推進するには効果的である。宣言を行うにあたっては議会・教育委員会・図書館協議会の皆様の理解と協力、何より市民の皆様との理解と共感が必要。

その他の質問

- ・加齢性難聴者への補聴器購入制度の創設は
- ・妊娠を計画している女性・妊婦に葉酸の配布を



問

軟骨伝導イヤホンを設置すべき

答 試行的に導入し有効性を検証する

川名 順子
(本宮市議会 公明党)



問 教育長就任に当たり所信について

答 すべての子どもを最大限成長させる

菅野 健治
(創成会)



問 前任者は、コロナ禍の中さまざまな制限を受け教育行政を担って頂いたと思うが、昨年5月より新型コロナウイルス感染症の感染の部類が5類制限が解除されたものと思う。本宮市の教育行政をどのように行うのか。

答 住んで良かった、本宮で学んで良かったと言っていただけの教育を目指す。第3期本宮市教育振興基本計画「笑顔あふれる教育のまちもとみや」に向けて関係部局や関係機関との連携を図りながら教育施策の推進に取り組んで参りたい。

問 令和5年3月定例会でいじめの現状について質問したが、件数については、答弁で、令和4年度2学期終了時点で73件、令和3年度は92件であった。令和5年度のいじめの件数は、発見方法は。

答 教職員によりまず日常的な観察と各学校年3回程度実施している児童・生徒へのアンケート調査、本人や保護者、周囲からの訴え、定期的な教育相談、個別の相談などにより早期に見つけていく。

その他の質問

- ・不登校の現状と対応は、保護者へのケアは
- ・児童・生徒の活字離れの現状と対応は



▲スマイルルームがあぶくま憩の家に移転されます

表彰



5月22日、全国市議会議長会定期総会において表彰を受賞しました。

一般表彰【正副議長4年以上】
三瓶 裕司 議員



▲ツタが巻き付いている桜の木

問 補聴器の購入助成制度と県内の実施状況との認識について伺う。今年1月に昨年の倍の239自治体に上っているとの報道があり、大玉村で今年から実施する認知症予防社会参加介護予防など、効果ある制度の導入

答 県内の実施状況は4市、6町、3村と把握している。実態を把握しながら検討していきたい。大玉村も今年度から助成を開始したことは承知している。どの程度申請があったかなど参考にして



問

補聴器購入に対する助成制度を
実態を把握しながら検討したい

答

問 学校の桜の木の管理は

答 専門家の意見を聞き調査する

問 本宮小学校西側グラウンドの土手にある桜の木について伺う。館町の住民の方々から枯れ枝が目立ち折れたりしないのかなど声が寄せられた。学校敷地の管理はどこでどう認識しているか、木の幹が見えない程、絡まる樹木の改善策

答 管理については通常学校からの連絡を受け、通路やグラウンドなど支障となっている枯れ枝については、専門業者に委託している。桜の木全体を覆うようにツタが巻き付いている状況は専門家の意見を聞き調査をしたい。

渡辺 忠夫
(日本共産党)



その他の質問

・地域計画とは何か、農業振興に期待できるのか

議案第27号

監査委員の選任について

今定例会では、初日に監査委員の選任について議案が上程され、全会一致で同意しました。

監査委員

國分 真一 氏

【主な経歴(公職のみ)】

・令和2年6月 本宮市監査委員

令和5年度改選後 政務活動費 報告

期間：令和5年8月1日～令和6年3月31日 (単位：円)

会派または議員名	交付額	支出額	支出内訳									差引残金
			調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費		
誠和会 石橋今朝夫 玉川 実 菊田 広嗣 渡辺 富幸 磯松 俊彦 後藤 友誉 橋本 善壽	560,000	561,535	368,430	0	193,105	0	0	0	0	0	0	0
創成会 渡辺 秀雄 三瓶 幹夫 馬場 亨守 菅野 健治	320,000	320,000	174,277	57,070	0	0	0	0	0	0	88,653	0
新風会 三瓶 裕司 根本 利信 国分 秀好 齋藤 雅彦 田中美代子	400,000	400,000	400,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市議会公明党 川名 順子	80,000	68,291	2,776	29,380	31,955	0	0	0	0	0	4,180	11,709
日本共産党 渡辺 忠夫	80,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80,000
無所属	伊藤 隆一	80,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80,000
	作田 博	80,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80,000
合計額	1,600,000	1,349,826	945,483	86,450	225,060	0	0	0	0	0	92,833	251,709

※差引残金は市の一般会計に返還しています。※支出超過分は議員個人の負担で支出しています。
※各会派、議員から提出された収支報告書をもとに掲載しています。

Question

政務活動費とは

政務活動費は、会派または議員の調査・研究その他の活動に必要な経費の一部として市から交付されます。
※議員1人あたり月額1万円
収支の内容は、年度ごとに議長に報告し、残額がある場合は市に返還しています。



ホームページはこちらから！

発行責任者
議長 橋本 善壽
副議長 菊田 広嗣
委員 根本 利信
委員 後藤 友誉
委員 渡辺 富幸
委員 田中美代子
委員 磯松 俊彦
委員 馬場 亨守
委員 菅野 健治

あ と が き
6月議会も終わり、今年も暑い夏が到来しております。6月議会では例年、年金や社会保険が議題になりますが、今議会では国民健康保険税が福島県内で統一されていくことについて議論されました。
本宮市の場合、国保税は今後、県内統一税額へ向け、少しずつ上昇してまいります。皆様の健康な生活は宝であります。日常生活で無理のない健康習慣を取り入れてはいかがでしょうか。そして、水分補給や生活環境にも留意され、熱中症にはくれぐれも気を付けてお過ごしいただければと思います。
(磯松)

次回9月議会定例会は9月3日に開会予定です。請願・陳情の締め切りは8月22日(16時まで)です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。

「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

発行

本宮市議会

編集

広報広聴委員会

〒969

1192

福島県本宮市本宮字万世2-1-2

TEL (0243) 24-5435
FAX (0243) 34-5567